

科目名	病理学		時期		時間	単位
担当教員	非常勤講師		1年次	前期・後期	30時間	1単位
科目設定理由	<p>病理学とは、「病気の理（ことわり）」を考える学問、つまり病気の原因、病気の発症・進展の過程、患者に対する影響などを明らかにする学問であり、看護師として働いていくためにはそれぞれの病気について本質から理解していくことが重要である。現代において、医師や看護師が行う医療行為は、個人的な考えや習慣、経験に基づいて行うのではなく、科学的な根拠に基づいて行うことが求められており、病理学はまさに臨床医学に科学的根拠を与える重要な土台となるものである。そこで、臓器の違いを超えて共通する病気の原因やなりたち、それぞれの臓器に生じる疾患の種類・分類、発生原因、進行過程などの知識を養うため当該科目を設定した。</p>					
学習目標	<p>1 各臓器に共通してみられる細胞・組織の構造と機能を理解する（総論）  2 各器官に起こる疾病の原因と進行過程、診断・治療の特徴を理解する（各論）</p>					
授 業 計 画						
回数	項目	内容				備考
1～8	【病理学総論】 病理学で学ぶこと	<p>1 病理学とは  2 看護と病理学  3 病気の原因（内因・外因）</p>				講義
	臓器の違いを超えて共通する 病気の原因やなりたち	<p>1 細胞・組織の障害と修復  2 循環障害  3 炎症と免疫、移植と再生医療  4 感染症  5 代謝障害  6 老化と死  7 先天障害と遺伝子異常  8 腫瘍</p>				講義
9～14	【病理学各論】 それぞれの臓器に生じる疾患の 種類・分類、発生原因、 進行過程、診断・治療	<p>1 循環器系の疾患  2 血液・造血器系の疾患  3 呼吸器系の疾患  4 消化器系の疾患  5 腎・泌尿器、生殖器系および乳腺の疾患  6 内分泌系の疾患  7 脳・神経・筋肉系の疾患  8 骨・関節系の疾患  9 眼・耳・皮膚の疾患  10 病理診断の実際</p>				講義
15	試験	まとめ				
使用テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進[1] 病理学		大橋 健一 他		医学書院	
参考図書・資料等						
評価方法	筆記試験					